

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。

めぞせ、均等待遇なくそう差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞー！

一年を通じた 要員確保を行うこと

未来

郵政産業ユニオン
PIWU
全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙「みらい」
NO. 3820
18年1月12日(金)
Fax 095-828-1953



おはようございます。
昨日は前夜から降り出した雪が一日中降り続け大雪になりました。昨日お昼に7センチと発表された雪は、今日まで降り続けると予想されています。
幹線道路こそはチェーンなどを使用しなくても通れますが、脇道や階段などには10センチ以上の積雪があります。外務員の皆さんは普段通れる道路が通れない、手前から歩いて行くしかないなど配達には困難が伴うと思います。くれぐれも無理せず安全第一で仕事に当たってください。

さて、年賀状配達も終わりがやく通常業務となりました。先日の「未来」でも指摘しましたが、今回の年末年始繁忙について現場の実態を報告するとともに、次の繁忙期に向けた課題を検討します。

12月からのお歳暮ゆうパックの取扱数は、正式な数値ではありませんが対前年度比120〜130パーセントとみられます。取扱数は事前の組合説明などと変わらず、長中局としては想定内だったと思います。それにもかかわらず連日の超勤対応となったのはなぜでしょうか。

第二集配営業部では、先月12月1日から今月5日までの超過勤務時間が80時間を超えた社員が多くいます。この数字には週休日の廃休(買い上げ)の際の勤務時間(基本の8時間と超過勤務時間数)と祝日出勤時の8時間(当日の超過勤務時間は前述の超過勤務時間に含まれないため、1月2・3日も祝日出勤扱いとなる正社員では、これらを合わせた総超過勤務時間は110時間を超えています。比較的業務

運行がよく回っている長中局では、この超過勤務時間は異常です。取扱数が想定内だったにもかかわらずこのような事態となった原因は「要員不足」の一言に尽きるでしょう。

12月21日の記者会見で長門社長は配達員の確保についても「読みに対し100パーセント近い人を集められている」と発言しています。会社全体として要員確保はうまくいったのに、長中局ではアルバイトを募集したが集まらず、増員なしで対応することとなったというのでしょうか。それならば長中局には、他の要員確保がうまくいっている局から要員確保手段を聞いて、要員確保に努めてもらいたかったものです。



もう一つ今回の繁忙期業務運行が困難に感じられた要因は、10・11月に行われた他の宅配業者の運賃値上げによる通常期のゆうパックの大幅増加です。この為11月も多く多くの社員が例年を大きく上回る超過勤務を行っていて、落ち着く間もなくそのまま繁忙期へ

と突入したため余計に繁忙期が長く感じられ、疲労の蓄積も半端ないものがありました。

繁忙期は終了しましたがゆうパックの増加傾向は続きます。巷では3月にゆうパックも値上げすれば落ち着くという話も聞きますが、大手通販会社の郵便局への差出指前もあり、昨夏までの状態に戻るということは

あり得ないと思っています。そもそも長中局は現在の要員について過不足があると考えているのでしょうか。ユニオン長中局支部は、この繁忙期間中に要員確保について何度も長中局に要請を行いました。その結果がこの有様であったことは支部の力量不足だということを感じています。



昨年11月の交渉時には長中局は、募集している人数や内勤社員のセンターへの業務発令計画などについては回答しましたが、要員不足という認識がどうかについては回答しませんでした(左表参照)。だからこそ今春闘は要員確保を重要テーマに現状認識のすり合わせを含め長中局と交渉を行っていきます。

お知らせ

1月13日(土)
郵政ユニオン長崎中郵支部旗開きを
地区労会館2階で、18時30分から行います。多くの皆さんの参加をお待ちします。

要員確保について、11月16日の定例窓口での内容

- (組合)現状、定員(の概念)はないとの事だが、各部で何名たりないかという認識なのか?
- (局)定員の概念はないので欠員の数を示すことはできない。只、退職等による人員が減少しているが郵便物も減少しており、ゆうパック併配を行いながら減区等で対応している。常態的超過勤務を削減する為に期間雇用社員を採用してコスト削減が計られる場合、新規で採用し配置しているものである。

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-山本, 2集-向井, 3集-山田, 郵便-高田, ゆうちよ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。